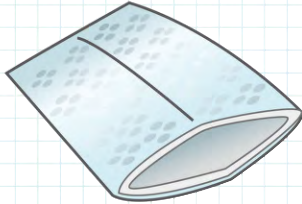




気泡緩衝材の加工技術のご紹介

1 多素材を多層袋に

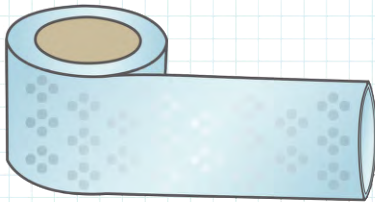


- 様々な素材と気泡緩衝材を同時にシール加工できます。
(紙やアルミ発泡シートなど)
緩衝材 + αの用途に使われます。



↑外側から、ポリラミアルミ蒸着フィルム、
気泡緩衝材、ポリラミクラフト紙、ライトロン。
ラミネートではなく、両サイドシール袋に
加工しています。

2 チューブ加工

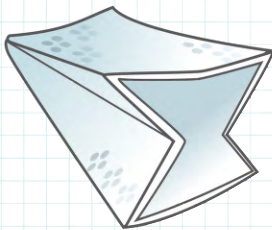


- エンドレスチューブの巻き取り加工ができます。
ポールなど長尺商品の梱包に使われます。



写真はミシン目入りです。
ミシン目を入れる加工も可能です。

3 角底袋を自動製袋

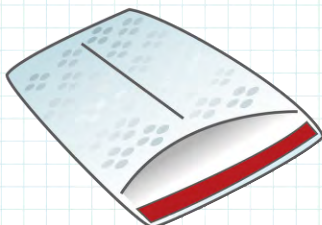


- ガゼット形状に自動加工ができます。



治具を使用することにより、自動製袋加工が可能となり
低コスト化が実現できました。

4 両面テープ貼り加工



- 両面テープ付き袋を自動加工ができます。
あらかじめテープが貼ってあるので工数削減になります。



テープの強度・幅も御相談下さい。